



CONTENTS

| | |
|--------------------------------|----|
| あいさつ | 2 |
| 池田泉州銀行の目指すところ | 3 |
| 池田泉州銀行の経営戦略 | 5 |
| 関西活性化のお役に立ちたい という志のもと | 7 |
| より便利に、より身近に、 ネットワークの拡充を目指して | 7 |
| 業績ハイライト | |
| ● 池田泉州ホールディングス | 8 |
| ● 池田泉州銀行 | 11 |
| トピックス | 17 |
| 池田泉州銀行 店舗のご案内 | 19 |



あいさつ

株式会社 池田泉州ホールディングス

(平成22年9月30日現在)

| | |
|-------|---|
| 設立日 | 平成21年10月1日 |
| 所在地 | 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 |
| 資本金 | 723億円 |
| 事業の内容 | 銀行、その他銀行法により子会社とすることが できる会社の経営管理及びこれに付帯関連する 一切の事業 |
| 従業員数 | 188名 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所、大阪証券取引所 |

■役員 (平成22年6月29日現在)

| | | |
|-----------------------------|-------------|--------------------------------------|
| (代表取締役) 社長兼CEO 服部 盛 隆 | 取締役 片岡 和 行 | 取締役(社外) 舛 柳 信 雄 (三菱東京UFJ銀行 取締役会長) |
| (代表取締役) 会長 吉田 憲 正 | 取締役 小宮 昇 | 監査役(常勤) 堀 井 勝 利 |
| 取締役 小川 昭 一 | 取締役 瀧 川 明 秀 | 監査役(常勤) 辻 太 保 |
| 取締役 伊藤 清 繼 | 取締役 藤 田 博 久 | 監査役(社外) 今 中 利 昭 |
| 取締役 昌尾 一 弘 | 取締役 福 地 直 哉 | 監査役(社外) 佐々木 敏 昭 |

株式会社 池田泉州銀行

(平成22年9月30日現在)

| | |
|------|-------------------|
| 設立日 | 昭和26年9月1日 |
| 所在地 | 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 |
| 資本金 | 507億円 |
| 預金 | 4兆2,884億円 |
| 貸出金 | 3兆4,815億円 |
| 店舗数 | 140力店 |
| 従業員数 | 2,968名 |

■役員 (平成22年6月29日現在)

| | | |
|-----------------------------|---------------|--------------------------------------|
| (代表取締役) 頭取兼CEO 服部 盛 隆 | 常務取締役 福地 直哉 | 取締役 久保田 洋 |
| (代表取締役) 会長 吉田 憲 正 | 常務取締役 青柳 茂 | 取締役 辻 二 郎 |
| (代表取締役) 副頭取 小川 昭 一 | 常務取締役 西 隆 史 | 取締役 森 崇 弘 和 |
| (代表取締役) 副頭取 伊藤 清 繼 | 常務取締役 内 村 昭 | 取締役 田 原 彰 |
| 専務取締役 昌尾 一 弘 | 常務取締役 坂 戸 豊 | 取締役(社外) 舛 柳 信 雄 (三菱東京UFJ銀行 取締役会長) |
| 専務取締役 片岡 和 行 | 常務取締役 井 角 和 博 | 監査役(常勤) 山 際 真 人 |
| 専務取締役 小 宮 昇 | 常務取締役 小 林 弘 明 | 監査役(常勤) 上 木 昌 憲 |
| 専務取締役 瀧 川 明 秀 | 取 締 役 北 村 康 男 | 監査役(社外) 大 橋 太 朗 |
| 専務取締役 藤 田 博 久 | 取 締 役 後 藤 良 幸 | 監査役(社外) 宇 澤 久 典 |

平素は格別のお取引を賜り厚く御礼申し上げます。

平成22年度中間期の業績につきましてお知らせいたします。

ポイントは以下のとおりです。

- ①中間期の業務純益は140億円、中間純利益は42億円となり、いずれも計画を上回りました。
(中間期計画、業務純益80億円・中間純利益35億円)
- ②預金残高は、個人預金を中心に年間572億円増加し、4兆2,884億円となりました。
預かり資産販売額も順調に伸び、中間期で898億円となりました。
- ③貸出金残高は、住宅ローンを中心に年間690億円増加し、3兆4,815億円となりました。
- ④不良債権比率は、2.15%から1.83%に低下しました。全国地銀の中でも最低水準の比率です。

池田泉州銀行が発足して半年が経過いたしました。

私どもはこれまで、合併効果の発揮に努めるとともに、

(1)地の利を活かした“アジア・チャイナ・ビジネス”の強化

(2)「産・学・官の連携」で培った“先進テクノ”的活用

(3)さまざまなニーズにお応えする“プライベートバンキング業務”的推進

の3つの独自戦略を展開してまいりました。

その一つ、「産・学・官の連携」の取組みとして、「関西活性化のお役に立ちたい」という想いのもと、6月に「関西活性化シンポジウム」を開催し大変ご好評をいただきました。

更に今回、11月17日・18日の両日「マイドームおおさか」において、

「産学官連携“関西活性化”フェア」を開催し、

近畿経済産業局・地方公共団体・公設研究機関・大学など、30を超える団体のご参加のもと、皆様に“出会う”“触れる”“尋ねる”場をご提供させていただきました。

11月19日には、新銀行初の新店舗として夙川支店をオープン、

また、12月6日には、東岸和田支店がリニューアル・オープンいたしました。

更に、来年3月には、京都支店がより広く、より便利になって移転オープンの運びとなります。

引き続き、より充実した店舗ネットワークのご提供にも努めてまいります。

私どもは、地域経済活性化という役割を果たし、地域力を高め、「地域の皆様からのご支持No.1」のご評価をいただけるよう、

役職員一同、全力を挙げて努めてまいります。

引き続き、ご愛顧とご支援を賜りますよう、

何卒宜しくお願い申し上げます。

平成22年12月

池田泉州ホールディングス 取締役社長兼CEO

池田泉州銀行 取締役頭取兼CEO 服部盛隆

